公表 事業所における自己評価結果

(別紙5)

事業所名		公表   事業所における自己評価結果 				
事	未川名	RAINBOW杁ヶ池クラブ チェック項目	はい	いいえ	公表日 工夫している点	2025年 3月 26日 課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0		日によって職員数が少ないと感じる日がある。
		生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている	6	1	手すりやクッション部材の利用など、子どもたちの安全に配慮している。その他、ホワイトボードを有効に利用し、視覚	
	3	か。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	的なアプローチにも気を配っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0		
業務改善	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0		
	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	2		一人一人の目標を全ての職員が把握できるよう にしていきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につ	4	0		
	9	なげているか。 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	0	第三者の外部評価は行っていないが、顧問税理 士や社会保険労務士と適宜運営の適正化につい	
	9	か。 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研	2	0	ての相談を行っている。	
	10	修を開催する機会が確保されているか。	5	0	HPにて公表をしている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成して いるか。	4	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけで なく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の 利益を考慮した検討が行われているか。	4	1		原案作りの時点でもっと時間を費やすべきだと 思う。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマル なアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセ	6	1		
		スメントを使用する等により確認しているか。  児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援	3	0		
適切な	16	の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援				
な支援	17	内容が設定されているか。 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0		
の提供			4	0	毎月「活動プログラム」を作成しており、子ど もたちが様々な経験を得られるよう怒めてい	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	もたちが様々な経験を得られるよう努めている。 毎日、「個別的療育」と「集団療育」とをセッ	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童 発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 支援関始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内	4	0	トでバランス良く支援を行うようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。			日々、HUG(システム)を活用して、気になる 事やヒヤリハットなど必要な記録を取るように 努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を	4	1	30 CV 3.	
	24	判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
	24	そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教	4	0		
	25	育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と				
	27	相互理解を図っているか。 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支	3	0		
関係機関や保護者との	27	援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 (28~30は、センターのみ回答)	1	2		
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を 図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けた				
		り、職員を外部研修に参加させているか。 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的				
連携	30	に参加しているか。 (31は、事業所のみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパー バイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこども	3	1		今後の課題として検討していく。
保護者への説明等		と活動する機会があるか。 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課	2	3		
	33	題について共通理解を持っているか。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラ	5	0	毎月「子育てカフェ」を実施し、保護者様同士	
	34	ム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や 情報提供等を行っているか。	5	0	のコミュニケーションの場を提供している。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、 こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意 向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、 面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	モニタリング時、送迎時、「子育てカフェ」等において、保護者様と十分なコミュニケーショ	
		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、	5	0	ンをはかっている。	
	39	保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、 きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	0		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。			個人情報については、鍵付きロッカーにて保管 管理を行っている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	44	しているか。 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を	4	0		
		図っているか。 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染	2	2		
	45	生を想定した訓練を実施しているか。	2	0		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、 定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	0		
非常時等の対応	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置 を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。				
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計	2	0		
	51	画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検	2	0	毎月のミーティング時において、職員間で情報 共有を行っている。	
		討をしているか。 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をし	6	0		
	52	だのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決	4	0		組織的なルールを明確化し、全員の共通認識を
	53	定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1		醸成していく。